

1. 進路指導部方針と重点的取り組み事項

＊各学年担任、特に3学年の担任と連携した進路実現、1・2年生への情報発信といった従来の取組に加え、次の事項に重点的に取り組む。

＊本校生徒の多様化、複雑化する課題を踏まえ、①3年間を通じた進路指導体制の再構築、②進路先の再構築を行う。

項目	具体的な取組
①“3年間を通じたオール蒲田での進路指導”の実現	・3年後の進路実現に向けて、各学年での進路指導を体系的に、組織的に実施するための体制づくりを行う。
②校内の支援チーム、保健部、YSW等と連携し、生徒の面接指導を行う	・支援チーム会に定期的に参加すること等を通じ、3年生の進路指導状況を共有するとともに、1、2年生の生徒の状況や早期から進路指導の方針を共有する。 ・総合的な探究の時間において、自立支援プログラム事業等を実施し、「心を育むキャリア教育」の推進教育を行う。
③外部団体との連携	・進路事業会社、ハローワーク等、外部団体と連携し、体験型中心の進路行事を実施する。 ・進学については「高大連携」、「高専連携」を意識し、進路先での体験等も視野に入れながら、関係を深めていく。 ・就職及び就職準備について、ハローワークだけでなく、障害者就労支援センターや就労移行支援事業所等とも連携し、生徒の個に応じた進路実現を目指す。
④保護者への情報発信を通じた円滑な進路指導の実現	・各学年保護者会において、進路からの情報発信を行い、必要に応じて保護者面談を実施し、classi等でも情報発信する。 ・早期からの情報共有、1・2学年は進路適性検査の実施→夏休みを利用し保護者との面談を行い、生徒の家庭内事情や経済的状況等の把握と個の実態に応じた指導を行う。 ・日本学生支援機構奨学金の説明会を保護者会（4月25日（土））で実施し、奨学金に関するトラブルを防ぐ。
⑤進路指導困難者への早期の指導	・昨年度も実施した進路指導履歴のデータベース化を今年度も継続し、進路指導が困難な生徒を早期に進路指導部で指導する。 ・特に卒業後の（目的意識のない）アルバイト従事を希望する生徒に対し、担任、保護者等と連携して進路決定につなげていく。
⑥1、2年生への情報発信の強化	・今年度も実施した「進路情報スペース」での情報発信を強化する。 ・“先輩（3年生）の進路活動”を意識できるように、Teams等の活用を含めた情報発信を行う。

2. 各学年に対する進路指導

【3学年（進学希望者）】

<指導の目標>

《大学（短期大学）進学希望者》

- ・2学期までの段階でできる限り“大学”という環境に触れさせ、名前や印象だけでなく、生徒本人の特質等々の「合致性」を高めた指導を行う。
- ・1学期から2学期にかけて及び入学試験合格後の講習会等を通じ、大学（短期大学）での入学試験とともにその先を見据えた学力をつけさせるような指導を行う。

《専門学校進学希望者》

- ・明確な意思をもたない早期決定を防ぎ、個別の面談等を通じた生徒の将来を見据えた指導を行う。※進路部で生徒のピックアップを行い、定期的に面談を実施する

【3学年（就職等希望者）】

<指導の目標>

- ・高校卒業すぐの就職に向けた指導を行うのか、働くための準備に取り組ませるのかを検討して、数年後を見据えたそれぞれの生徒の「個」に応じた指導を行う。

【1・2学年】

<1学期>

《目標》

進路に対する意識を高め、将来の就職を見据えた「進路」を考えるようにする。

《行事予定》

4月8日（水）	2学年進路オリエンテーション
4月25日（土）	2学年（3学年）合同進路説明会
6月10日（水）5・6限目	2学年進路ガイダンス①
6月17日（水）5限目	2学年 ジョブキャンプ説明会
7月6日（月）～8日（水）	2学年 ジョブキャンプ

<2学期>

《目標》

高校卒業後の進路希望について、全員が大きな方向性（「進学」か「就職」等）を決められるようにする。「進学」希望の生徒は、進学先の候補をあげられるようにする。

《行事予定》

11月 5日（木）5・6限目	1学年進路ガイダンス①
11月11日（水）5・6限目	1学年進路ガイダンス②
11月18日（水）5・6限目	2学年進路ガイダンス②
12月16日（水）5・6限目	2学年進路ガイダンス③

<3学期>

《目標》

次の学年に向けて、自分の進路希望を確定し、進学希望者は進学希望先の大学、短期大学、専門学校に少なくとも一度は出向き、就職希望者は就職活動に向けた準備を行う。

《行事予定》

1月20日(水)5・6限目

2月10日(水)5・6限目

3月17日(水)午前

2学年進路ガイダンス④

1・2年合同進路ガイダンス①

1・2年合同進路ガイダンス②